

第2章 デンマークの社会福祉の財源について

前の章においてデンマークの「高福祉」の概要に触れましたが、この章においては、今日の「高福祉」の負担を支えているデンマークの財源について触れます。

2008年7月におけるデンマークの総人口は約548万千人です。同年における国民総生産高（GNP）は1兆7374億クローネ（約34兆円）で1人当りに換算しますと317,000クローネとなり、ドル換算では約6万ドルになります。2008年における輸出高は9,560億クローネ（約19兆円）でGNPに占める輸出率は55%になっています。輸入額は9,090億クローネ（約18兆円）で対GNP比52%になっています。つまり、デンマークの国民総生産高の半分以上は国外との交易によって生み出されているということです。これは国内市場が小さいデンマークにおいて、豊かな生活をするためには国外との交易をもとに『稼ぐ』というデンマーク人の歴史の中から生まれた知恵だと思えます。因みに2008年におけるデンマークの主な輸出先国はドイツ（18.0%）、スウェーデン（14.9%）、イギリス（8.3%）、ノルウェー（8.3%）、アメリカ（5.8%）、オランダ（4.7%）、フランス（4.5%）、イタリア（3.2%）、スペイン（2.7%）、フィンランド（2.6%）の10カ国で輸出総額の73%になっています。（）内の数値は輸出総額に占める各国の割合。

なお、2009年現在、デンマークの企業は国外に約8800の事業所を所有し約53万人の従業員を雇っていると言われています。

① デンマークの資産家と国際企業

● デンマークの資産家

デンマークの資産家について最近の新聞報道（2010年8月26日付け Berlingske Nyhedsmagasin）によりますと、2009年度におけるデンマークの大資本家50社の総資産額は4,000億クローネ（現在の換算レート計算で約6.5兆円）だと報道しています。その中からデンマークの資産家10家族の資産額順を列記します次のです。なお、1クローネは2010年8月現在日本円で約15円になっていますが、以下において便宜上1クローネ20円として計算しました。

- 1) マースク株式会社の会長マースク・マッカーキニー・ムウラーの資産額は1,254億クローネ（約2.5兆円）でデンマーク最大の資産家と発表されました。マースク（Mærsk）株式会社の創業は1904年です。同社が手がける事業はスーパーの運営、北海油田の発掘、海運業など幅広い事業を展開しています。特に海運事業においては、タンカー、コンテナ船、自動車運搬用船舶など総重量トン（dead Weight）1,200万トン、計300隻の船舶を所有しています。2008年の売上高は3,268億クローネ（約6.5兆円）で従業員数は12万人となっています。従業員1人当りの売上高を試算しますと約273万クローネ（約5400万円）となります。
- 2) 玩具メーカー「Lego」社を所有するキエク・クリスチャンセン家族の資産総額342億クローネ（6,840億円）。
- 3) 天井窓など「Velux」窓メーカー社を所有するカン・ラスムセン家族の資産総額247億クローネ（4,940億円）。
- 4) 「衣料品販売業ベストセラー社」を所有するホルシェ・ポールセン家族の資産総額246億クローネ（4,920億円）だと発表されました。ベストセラー（Bestseller）の創業は1975年で子どもや若者の衣類（商品名：Only, Jack&Jonesなど）の販売を手がけるデンマーク最大の衣料販売会社です。同社は世界31カ国に販売拠点を所有しています。最近では、中国の20代から30代の人達に向けた衣類の販売に力を入れ、1996年中国に初店舗を開設した後、2008年現在、約2100店の販売店を中国全土に開店しています。従業員数は約39,000人と言われています。

- 5) ポンプメーカー「グロンホース(Grundfos)」社を所有するドユーエ・インセン家族の資産総額 202 億 (約 4,000 億円) クローネ。
- 6) 寝具などの小売販売業を手がける「ラース・ラーセン(Lars Larsens Sengtøjslager)」社を所有するラース・ラーセン家族の資産総額 175 億クローネ (3,500 億円)。
- 7) 暖房器具などの温度調節器のメーカー「ダンホース(Danfoss)」社を所有するクラウセン家族の資産総額は 167 億クローネ (3,340 億円)。
- 8) プラスチック器具「コロプラスト(Coloplast)」社を所有するルイス・ハンセン家族の資産総額 140 億クローネ (2,800 億円)。
- 9) 靴メーカー「エコ (Ecco)」社を所有するハニ・T・カスブラック家族の資産総額 111 億クローネ (2,220 億円) と発表されています。エコ (ECCO) 社の創業は 1963 年です。デンマークの最大の靴メーカーエコ社は、世界の 90 カ国に約 900 店の販売店を持ち、従業員数は約 15,000 人と云われています。2009 年の売上高は約 50 億クローネ (約 1000 億円) で、靴の 80%はスロバキア、タイ、インドネシアで生産し、残る 20%はインド、中国などでのライセンス生産をしています。2009 年における同社の販売市場は欧州諸国が主で、売上高の約 74%は北欧諸国と東西ヨーロッパ諸国でアメリカが 17%、残りアジア諸国と太平洋諸国となっています。
- 10) 海運業、航空機のリース、不動産事業を営むキエク・ヨハンセン家族の資産総額 75 億クローネ (1,500 億円) と発表されています。

このように、デンマークは高福祉・高負担の国と云われながらも、日本円で何千億円の資産家が何人もいるのです。千葉県の人口 (約 6 百万人) より少ないデンマークにおいて国内市場相手ではこのような資産家が生まれることは無かった、と私は思うのです。この他にデンマークの主な国際企業を紹介しますと次の通りです。

● デンマークの国際企業

1) デーニッシュクラウン(Danish Crown)

デンマークで最初の豚肉解体協同組合が設立されたのは 1887 年ですが、デーニッシュクラウンの源はここに遡ります。デーニッシュクラウンの法人形体は協同組合ですので毎年年次会計報告書をもとに出資者である農家に対し当期利益の利益処分としての配当制度があります。この制度では、出荷した豚肉や牛肉 1 キログラム対し幾らという配当金 (生産者価格への上乗せ金) を、養豚農家や肉牛生産者農家に支払われことになっています。支払われる配当金額の大きさで、経営者の能力が問われ、業績が悪いと解雇されます。年次会計報告書の総会には、養豚農家や肉牛生産農家が参加し、年次会計報告書の承認をしますが、その場合の投票権は出荷した量と関係なく、1 生産農家の投票権は 1 票と決まっています。例えば年間に 1 頭の豚や牛を出荷しなかった農家も 1 票の投票権が貰え、何万頭の豚を出荷した農家も同じで投票権は 1 票しかもらえないということです。

デーニッシュクラウンは組合員約 11,000 戸の農家が肥育する豚と牛を解体し生鮮肉としてまた加工商品として販売する協同組合です。年間に解体される豚の数は約 1900 万頭、その他に年間約 50 万頭の牛が解体され肉となって世界市場に販売されています。デーニッシュクラウンの年間の売上高は約 450 億クローネ (約 9 千億円) で従業員数は約 23,500 人です。同社は世界各国に支社や支店を開設しており、日本にも支社があります。2009 年同社の対日豚肉販売高は約 13 万トン、金額にして 34 億クローネ (約 680 億円) となり、この額は同年における日本の対デンマーク総輸出額 22 億

クローネ（約 440 億円）を上回っています。なお、2009 年におけるデンマークの対日輸出総額は 74 億クローネ（約 1,480 億円）で、デンマークの大幅な出超（黒字）となっています。

2) アーラ・フード (Arla Foods)

アーラ・フードの本社はデンマークにありますが、デンマークとスウェーデンの乳牛生産農家約 9500 戸が所有する協同組合で、乳牛生産者から供給される生乳を牛乳やヨーグルト、粉ミルクやチーズ、バターなどの製品に加工し世界市場に販売する国際企業団体に年間の売上高は約 455 億クローネ（約 9,100 億円）従業員数は約 18,000 人です。企業形態は協同組合であるため、年次会計報告書をもとに出資者である酪農家に利益の配当があります。

3) ダンスク・バンク (Dansk Bank)

ダンスク・バンクの創立は 1871 年で、今日北ヨーロッパの国を主体に 13 カ国に支店を持つデンマーク最大の銀行です。従業員数約 24,000 人で 2007 年税引き後の利益約 150 億クローネ（約 3,000 億円）となっています。同年の税引き後の利益を従業員 1 人当りに換算すると 625 千クローネ（約 1,250 万円）となります。同社の顧客数はデンマークの人口に近い約 5 百万人と云われています。

4) ノーボ・ノーデスク (Novo Nordisk)

ノーボ・ノーデスクの創業は 1923 年となっています。創立者は 1920 年のノーベル医学賞を取得したデンマーク人の生理学者オーガスト・クロー（1874-1949）です。同社はインシュリンや酵素を製造販売する製薬会社で、2006 年の売上高は約 380 億クローネ（約 7,600 億円）となっています。売上高の 40%は欧州諸国、25%は北米となっています。従業員数は約 23,000 人です。売上高を従業員数で割ると従業員 1 人当りの売上高は約 165 万クローネ（約 3,200 万円）となります。

5) ベスタス・ウインド・システム (Vestas Wind System)

世界最大の風力発電機メーカーで 1979 年に風力発電事業に入り、2004 年風力発電機メーカー NEG Micon 社と合併し今日の企業名となりました。2009 年現在世界 61 カ国に計約 4 万基の風力発電機を納品しています。従業員数は約 21,000 人で 2009 年の売上高は約 498 億クローネ（約 9900 億円）となっています。売上高を従業員数で割ると従業員 1 人当たりの売上高は約 237 万クローネ（約 4,700 万円）となります。

6) カールスビール (Carlsberg)

創業 1847 年のカールスビール会社は世界 50 カ国でビールを生産し 150 カ国にビールを販売するデンマークの国際企業です。2009 年のビール生産量は 1 億 1600 万 HL（ヘクトリットル）で売上高は 594 億クローネ（約 1.2 兆円）となっています。従業員数約 45,000 人で、売上高を従業員数で割ると従業員 1 人当りの売上高約 132 万クローネ（約 2,600 万円）となります。

このように「国内市場が小さい」デンマークでは、デンマークの企業の多くは国際市場を相手に商売をしているのです。このため、デンマークの学校教育では国外との取引が出来る人達を育成するために小学校 3 年生から英語の勉強を始まり、中学校ではドイツ語フランス語を教え、高等学校ではさらに、スペイン語、ロシア語などの語学教育を実施しているのです。また、デンマークの義務教育では小学校の 1 年生から「教育・職業及び労働市場の知識」という科目が必須科目になっていますが、この中で、例えば小学校 4 年生から「就職の可能性や起業」について語り合い、8 年生（日本の中学 2 年生）では「外国での就学と就業の可能性」について語り合う授業があります。このような教育をデンマークの学生は得ているためか、コペンハーゲン工大の卒論の殆どは英文で書かれていると聞いたことがあります。これも、デンマークの大卒は国外でも仕事出来るという証拠だと云えると思います。最近の新聞報道（注）によれば、デンマークの人達は国内に仕事がなけ

れば国外に出ることを希望しその求職先国としてアメリカ、カナダ、あるいは中国をあげています。
 (注) Dagbladet Holstebro/ Struer Onsdag den 22.09.2010

このような国外でも業務が出来る人材の確保を通し、デンマークの企業は国外での営業を通し、デンマークの社会福祉の財源を確保し、自己の資産を築き上げているのです。

日本とデンマークの企業違いは、日本の企業の多くは東京本社や東京出張所などの事務所を開設していますが、デンマークのメーカーの殆どは地方都市に事業所を持ち、首都コペンハーゲンに「コペンハーゲン本社」を設置しないことです。上記で紹介しました、玩具メーカー「レゴ」、ポンプ会社「グロンハウス」、温度調整器会社「ダンハウス」はデンマークのユトランド半島に事業所と工場を持っていますが、コペンハーゲンに事務所は所有していません。また、上記6社の中でコペンハーゲンに営業所を持っているのはカールス・ビール、ノーボ・ノーデスク、ダンスク・バンクとマースク社ですが、これらの会社はもともと創業がコペンハーゲンであったためです。つまり、国土が狭く、人口が少ないデンマークにおいて、デンマークで最も土地の高いコペンハーゲン市内に事務所や支社を持つ経済的メリットは無いためです。高い土地や建物に投資するよりも、お金を国内外でお金を稼ぐ、従業員にお金を払った方が、企業経営として、的を得ていると私は思うのです。それと、デンマークの企業関係者は中央官庁や中央政治と業務に関する接触が殆ど無いことも、コペンハーゲン市内に営業所を持たない理由になっています。日本の企業の多くは日本国内で最も土地代や家賃が高い、東京に本社や事業所を所有する理由は何か判りませんが、国民同士相手の商売では国は豊かになれないと思います。なぜならば、日本人同士のお金の取り合いで終るためです。

② サラリーマンの所得

デンマークのサラリーマンの給与額は取得した職種教育によって異なります。最近の数字ではありませんが、デンマークにおける教育を受けた期間の長さや得る報酬の関係を見ますと(2007年、平均値)、商業・工業高卒レベルの教育を受けた人達の給料は年金手当(注)額を含め、月給は約2万5千クローネ(約50万円)、短期高等教育(高卒後3年~4年、看護師、教員、警察官など)卒業の人達の年金を含めた月給額は約3万クローネ(約60万円)、同じく長期高等教育(高卒後5年~6年、大学の修士課程)を卒業した人達の月給は4万5千クローネ(約90万円)で、博士課程卒業(大卒後2年~3年)の人達の年金を含めた月給は約5万5千円(約110万円)となっています。こういうことからデンマークには30代の男女で日本円で年収1千万円を貰っている人は珍しくないのです。

(注) ここでいう年金手当とは、給与所得者と雇用者との間で締結された「分割年金」のことです。退職後、国民年金だけでは、生活費が充分ではないことを理由に就業中に雇用者との間に給料として受取る現金の他に「年金」として積立てするお金のことです。積立出来る金額は無課税で、積立限度額はこれまで無制限でしたが、2010年1月1日から上限が決まり最高額は年10万クローネ(2百万円)となりました。年金積立金額が受けとれるのは年齢は60歳以上から、最少10年間から最大25年間に分けて受取れることになっています。「分割年金」を受け取る場合は利息を含めた積立金総額の15%を納税します。なお、デンマークには、個人的に無課税で積立できる「資本年金」という制度もあります。積立できる限度額は毎年調整されますが2010年の場合、限度額は年45,000クローネ(90万円)となっています。この「資本年金」は受給年齢は60歳以上で、積み立てした全額をまとめて受取ることが出来ますが、「資本年金」の場合でも、「分割年金」と同じように利息を含めた積立金総額の15%を納税します。

③ 脱税が困難な納税システム

前章においてデンマークの「個人登録番号」について触れましたが、デンマークでは個人登録番号の導入によって、お金の出し入れが明白になりました。そんなことから、正規の取引をしている人

達には脱税は大変難しいのです。何故ならば、デンマークの銀行は、年末、全ての口座所有者の残高を税務署に通知する義務が課せられているため、税務署は確定申告書に記載されている（CPR番号付き）収入源と銀行から送付されて来た口座残高（CPR付き）容易に照合することが出来るためと、デンマークの確定申告書の保管期間は5年で、税務署は5年間間に個人・法人関係なく、納税額のチェックが出来るようになっているのです。そんなことから、確定申告書に記載しないお金を銀行に預けるわけには行かないのです。デンマークで脱税が難しいのは、年商1万クロネ以上（約20万円）事業主は消費税の登録が義務付けられ事業主には8桁のナンバーが配布されています。事業主間の取引においてはそのナンバーの記載が義務付けられ、また、会計報告の義務付けもあるためです。それでも、デンマークの脱税に関する、新聞報道によると（Jyllands-Posten 25/7 2009 s.5）デンマークの税務署は1万人の確定申告書のチェックをした結果、通常確定申告で男性で6パーセント、女性で4パーセント「脱税と記載ミス」見つかったと語り、事業主の確定申告では男性で16パーセント、女性で11パーセントに「脱税と記載ミス」があったと書いています。つまり、個人番号の登録制度を導入し、脱税が難しくなっているにも関わらず、それでも脱税したり、確定申告の記載にミスがあったりし、その結果として、脱税に繋がるケースもあるようです。このことに関し、デンマークの税務署は、特に男性の確定申告書を厳しくチェックするとは云っておらず、確定申告書の記載への指導の強化に努めると云っているだけです。この背景には、デンマークの消費税率は25%ですので、仮に所得税を脱税して得たお金でも、消費することで、国家の財源になっているためだと思うのです。例えば、2007年におけるデンマーク人の納税額は8、287億クロネ（約16.6兆円）ですが、この内の51.5パーセントが個人所得税による納税、21.3パーセントが、消費税による納税額となっています。つまり、デンマーク国家財政の歳入源となっている納税額の約73パーセントは個人所得税として納税されたお金と消費によって納税されたお金によって占められているのです。こういうことから、仮に所得税を脱税した人達でも、脱税したお金銀行に預けるわけには行かないため、飲んだり、食べたりなどの消費に充てることで、消費税25%を納税しているのです。ここでデンマークの納税についてです。

④ 15歳から始まる所得申告

デンマークは満15歳になると所得の課税対象者となり所得申告が始まります。アルバイトをする場合は雇用主に税務署が発行した「納税カード」か「無税カード」を提出することになっています。雇用者はそのカードに支払った金額を書き入れ、雇用者のサインを入れることになっています。15歳から18歳までの納税者の非課税所得は年32,200クロネ（2010年）日本円で約64万円で、これを越える所得には、納税カードや無税カードに記載されている税率（38~40%）の税金分を雇用者が差し引いて支払うことになっています。定職者との労働関係では雇用者と被雇用者との間で毎年、雇用契約書を結ぶことになっています。雇用契約書の書類は被雇用者が加入する労働組合が用意しますが、雇用契約書には、時間給または給与額、就労時間数、休暇手当、解雇条件、雇用期間、職務内容を書き入れることになっています。時間給にしても給与額にしても労働組合からガイド額が出されるのでそれを下回りことは出来ません。また、デンマークでは18歳以上の人達を雇用する場合、最低時給額は日本円で2千円相当でこれ以下の時給で人を雇うことは出来ないことになっています。解雇においては、勤続年数との関係で、最大3ヶ月から6ヶ月の予告を持って解雇することが出来ます。解雇された人達は労働組合から失業保険が出ます。2010年における、デンマークの失業保険支給額は「フルタイムの失業保険」加入者だと最高額が税込みで日当752クロネ（約15000円）で年間19万5千クロネ（約390万円）になり、「パートの失業保険」加入者の日当は501クロネ（約1万円）で、年間で受け取れる失業保険額は税込みで約13万クロネ（約260万円）になります。デンマークの失業保険支給期間は失業した日から4年間（但し国家の赤字財政の建て直しを理由に現与党は2011年~13年までの3年間は2年間に削減した）で、この期間を超えた失業者には、「早期年金」あるいは「生活保護」を支給します。なお、夫婦の何れかが持ち家など資産があった場合「生活保護」は受けられません。

⑤ 収入源と残高報告

雇用者は年に一度（年の始め）、前年の雇用者全員に払った報酬額（給与額）を税務書に報告する義務を負っています。報告書には被雇用者の個人番号と支払った金額、納税額など書き込むことになっています。雇用者は人件費を控除するためには支払った個人番号が証拠となります。それと既に触れましたが、銀行は年末になると、個人登録番号別の口座残高表と支払った利息、受け取った利子をまとめ税務署に報告する義務を負っています。その他、銀行は各個人が所有する株や公債、社債などの債権所有額についても税務書に報告する義務も負っています。企業間取り引きにおいては、全てに企業に8桁の企業登録番号が付き、年商5万クローネ以上（約100万円）の事業主は消費税法の規定で登録が義務付けられています。こういうことで、個人においても企業主においてもお金の出し入れの証拠が出せるようになっているのです。一方証拠の無いお金の出し入れは、税務所とのトラブルの原因となります。例えば、税務署が把握している所得に比べ、高級住宅に住むとか、高級車に乗っているとかすると収入源を問われるからです。

デンマークの財政源の主な税収入は個人所得税や資本収益税と消費税（25%）です。例えば、2008年デンマークの国家予算の歳入額は約8,445億クローネ（約16.9兆円）ですが、この内、個人所得税及び資本収益税による歳入額は5,077億クローネ（約10.2兆円）で、消費税による歳入額は1,804億クローネ、（約3.6兆円）になっています。これによってデンマークの歳入総額の81.5%が個人所得税及び資本収益税それに消費税に占められているということです。

⑥ デンマークの税率

デンマークではどのような税金が払われているのであろうか。2009年と2010におけるデンマークの主な税項目と税率について見たのが下記の表です。

税金の名称	2009年	2010年
・ 労働市場掛金	8 %	8 %
・ 健康保険掛金	8 %	8 %
・ 個人控除額（18歳以上）	42,900 kr.	42,900 kr.
・ 個人控除額（18歳以下）	32,200 kr.	32,200 kr.
・ 最低税率	5.04 %	3.67%
・ 中税率	6.0 %	廃止
・ 中税率の基礎額	347,200 kr.	-
・ 最高税率	15 %	15 %
・ 最高税率の基礎額(注1)	347,200 kr.	389,900 kr.
・ 納税天井率（注2）	59 %	51.5 %
・ 不足納税額の繰越限度額	18,300 kr.	18,300 kr.
・ 株の売買収益		
－ 低収益限度額	48,300 kr.	48,300 kr.
－ 高収益限度額	106,100 kr.	廃止
・ 株売買益税率（注3）		
－ 低率	28 %	28 %
－ 中率	43 %	42 %
－ 高率	45 %	廃止
・ 資本積立年金限度額		
・ 就労控除限度額	13,600 kr.	13,600 kr.
・ 就労先提供の自動車（注4）		
取得価格 16万～30万クローネ	25 %	25 %
取得価格 30万クローネ以上	20 %	20 %

筆者解説：

- 注1. 最高税率基礎額とはこの基礎額を超えた分に対し15%の所得税がかかるということ。
 注2. 総所得に占める国税と市町村税の占める割合はこの率を越えてはならぬという意味です。
 注3. 株の売買収益が48,300クローネまでの課税率は28%ということです。そして2010年以降上限が無くなり、売買益に対する納税率は42%ということです。
 注4. デンマークでは雇用者と被雇用者との就労契約で、乗用車を雇用者が被雇用者に対し無償で提供している場合が多くあります。国はそれに対し、個人の所得と看做し、車の取得価格に対し税金を払うことになっています。

⑦ 所得税の算出例

デンマークの平均的給与所得者のどれだけの納税しているか、デンマークの税務署のデータからその例を書き出したのが下記表です。デンマークの個人所得税とは、国税、市町村税、教会税、労働市場掛金、不動産価値税、その他の個人所得税（株取引の売買益など）の項目に別れています。この中で日本では馴染みの無い税金が教会税と不動産価値税であると思います。教会税は全国約2400の教会を維持するために徴収される税金です。不動産価値税とは、「住居税」で持ち家であっても、不動産の評価額に対し「住み代」として払うのがこの税金です。なお、日本円とクローネの換算レートは便宜上1クローネ20円として計算しました、今日（2010年8月）の換算レートは1クローネ15円前後になっています。

表. デンマークにおける所得に占める納税額の算出例

2010年における所得税算出の基本例		1クローネ約 20円	
所得申告書		クローネ	クローネ
給与所得	(1)	426.348	
マルチメディア税	(2)	3.000	
労働市場掛金 (給与所得及びマルチメディア税の8%)	(3)=8 pct. af ((1)+(2))	34.348	
個人所得計	(4)=(1)+(2)÷(3)	395.000	395.000
資本純収入	(5)		÷ 30.000
控除額 (失業保険掛金及び通勤費)	(6)		12.500
就労控除額(給与所得及びマルチメディア税の4.25%、但し限度額13,600クローネ)	(7)=4,25 % af ((1)+(2)), dog maks. 13.600 kr.		13.600
課税対象額	(8)=(4)+(5)÷(6)÷(7)		338.900
税金額の明細			
市町村税及び教会税			
課税対象額		338.900	
÷ 個人控除額		÷ 42.900	
25,6 pct. (平均的市町村の税率)注		0,256 x 296.000	75.776
国家への健康保険掛金			
課税対象額		338.900	
÷ 個人控除額		÷ 42.900	

税率 8,0 pct.	0,08 x 296.000	23.680
国税 (最低税額)		
個人所得 (+ 純資本収入)	395.000	
÷ 個人控除額	÷ 42.900	
税率 3,67 pct.	0,0367 x 352.100	12.922
国税 (最高税額)		
個人所得 (+ 純資本収入)	395.000	
÷ 最高税額の基礎控除額	÷ 389.900	
税率 15,0 pct. ÷ 課税天井による減率 0,07 pct.	0,1493 x 5.100	761
所得税計		113.139
労働市場掛金		34.347
段階的減額前のグリーン小切手額 (注)	1.300	
段階的減額: (7,5 pct. af 395.000 kr. ÷ 362.800 kr.; 但し 最大. 1.300 kr.)	÷ 1.300	
段階的減額後のグリーン小切手	0	÷ 0
所得税、労働市場掛金及びグリーン小切手合計額		147.486

(注) グリーン小切手とは、エネルギー税の値上げおよび健康を害する食品 (キョコレートやキャンデー類) への課税増額に対する助成金のことで 2009 年 3 月 1 日に導入された制度のこと。

注: 2010 年におけるコペンハーゲン市の市税率は 2009 年と同率の 23.8% となっています。

上記表をもとに納税率を試算しますと、 $147,486/426,348=34.6\%$ となります。つまり、デンマークのサラリーマン (所得者) が日本円に換算して約 853 万円の収入があった場合に払う納税額は約 295 万円ということです。総所得額に占める税金額を計算しますと、納税率は 34.6% ということになります。因みに「マルチメディア税」という項目は、職場からコンピュータを供給されている人達が自宅でも利用する (私的目的で使う) ことを理由として徴収される税金で、自宅にコンピュータを持ち帰らないことを約束すれば、課税されない税金です。また、日本語の「÷」とう記号はデンマークではマイナス (引く) という意味です。

⑧ デンマークの物価

デンマークを訪れた人達の多くはデンマークの物価高に驚くはずである。特にデンマークで日本に比べ高いのはホテル代だと思います。コペンハーゲン市内のホテルでシャワーもトイレも無いシングル部屋でも 1 泊朝食付きで 400 クローネ～500 クローネ (約 9000 円) します。特に自動車の購入代が高く、日本で 150 万円程度で買える乗用車もデンマークの自動車登録税 (輸入価格に対し 180% 加算) に消費税 25% の税金が加算されるため売値が 400 万円～450 万円になります。一方乗用車が高額であるためデンマークの人達は大事に乗り、長年 (自動車の平均使用年数 14 年と言われている) 使用し頻繁に買い換えはしないようにしています。例えば私 (筆者) が乗っているホンダのアコードは 1994 年の登録ですが、16 年経った現在の走行距離は約 22 万 km ですが、特に問題が無いので、まだ乗って (使って) います。

デンマークの消費税が 25% でも日本に比べ安い物は豚肉や牛肉など食肉と酪農製品だと思います。例えば、豚肉 500 g は 20 クローネ (約 400 円) 程度で買えます。豚や牛のひき肉は 1 k g 当たり 57 クローネ (約 1140 円) で買えます。また、日本に比べ、安いか高いか解りませんが、デジタルカメラ (キャノンパワーショット A 3 1 5 0) 約 2 万円、ソニー D S C - W 3 2 0 デジタルカメラ約

2万円で買えます。40インチの薄型テレビ約9万円の値段が付いています。その他では電気掃除機約1万円、GPSナビゲーション2万円で買えます。

⑨ 消費税の精算

事業を営む人達は、年商額に合わせ、半年や1年毎に税務署に消費税の精算をすることが義務付けられている。精算方法は売った物の消費税から買った物の消費税を引いた額を税務署に払い込むようにしています。つまり事業主は販売した物で受取る「消費税」と購入した時に払う「消費税」その差額を国税として納税します。受取った消費税よりも支払った消費税が多い場合はその差額は税務所から払い戻しがあります。そんなことから、デンマークの業者は顧客に請求書を出す場合必ず、材料費の明細と人件費を分け「小計」とし、その「小計」に消費税25%を加算した額を請求額としています。輸出は「消費」ではありませんので、消費税はかかりません。

⑩ デンマークの社会福祉に問題はないか

デンマークの「高福祉」、「高負担」において、問題は無いわけではなく当然、数の中には「信頼」を裏切る、あるいは「乱用」する人もいます。最近の例ですが、デンマークの在宅介護スタッフの就労時間は、各スタッフ配布されているコンピュータに在宅介護中の勤務時間を書き込むことになっていますが、高齢者の世話をする時間帯に、買い物や自宅に帰って休んだりなど私的時間に使っていることが、テレビ局の調査で判ったのです。このような問題が起こると、テレビ、新聞など報道関係者は、介護センターの所長、役所の責任者、政治家に「なぜそのようなことが出来るのか、どんな対策を採ることを考えているのか」などコメントを求めます。このように、デンマークの報道関係者は職場の不正を公開することで、職権の乱用を止め、税金の無駄使いに繋がらないよう国民に訴え、国民全体で考える対策を採ることにしています。この情報公開が、デンマーク人の高負担や高福祉を支える「信頼」に繋がっているように思えるのです。つまり、納税者とそのお金を配る人達の間には「信頼」関係が必要ですが、この信頼関係を崩さないためにも、国民同士で職権の乱用を厳しく監視する体制が、高福祉高負担の国には必要だということです。

⑪ 社会福祉には国民間の信頼が必要

何れにせよ、デンマークでは納税者とそのお金を管理する役所との間に「信頼関係」が出来ているためか、高い税金を払い、その見返るとして「ゆりかごから墓場」までの社会福祉の恩恵が受けられる政策が採れているのです。勿論、デンマーク人の中には、高い納税に反対している人たちもいます。そのような人の多くは子育てもしていないし、病気もしていない、つまりまだ、社会福祉の世話になっていない人達です。私（筆者）には3人の子供がいますが、長女は大学の医学部を卒業し、現在神経科専門医の医師の道を歩んでいます。次女は芸大での繊維デザイナーの教育を受け、現在、子ども服から若い女性向けの服のデザインと製品にするための発注（主としてベトナムやバングラデッシュ）出来た物の商品検査を含めた業務に務めています。そして三女は大学で語学と経済を学び、現在世界最大の風力発電機メーカーのスポンサーダイレクターという職に就いていますが、もし私が母国日本で生活していたら、子ども達にこれらの教育を受けさせることは出来なかったと思っています。なぜならば、私の収入を得る能力を遥かに超える教育を子ども達は受けているためです。つまり、デンマーク人は家庭の資産や所得の大小と関係なく、全ての国民は同じサービスが受けられる「共生社会」（注）をつくっているのです。

（注）「共生」という言葉についてですが、デンマーク人の間で良く使われる言葉の中にデンマーク語で「Fællesskab」という言葉があります英語に直訳すると「Solidarity」あるいは「Community」となりますが、第一章の中で説明しましたデンマークの社会福祉政策の内容からしてデンマーク語の「Fællesskab」は英語訳の「共生」（Symbiosis）に近いと思うのでここでは共生と意識して使うことにしました。

私たちは孤島に1人で生きているのではなく、多くの人達との関わりあいの中で生きていることを考えると何処の国に住もうとその国に住む人たちは「共生」でもあるのです。「共生」という云うことにおいて、デンマークと日本との間に大きな違いがあるとすれば、デンマークの人口は約553万人で日本は約1億2700万人ということです。つまり、デンマークでは人口が少ないため、国内市場相手では大した商売が出来ないということと、他国との国境が隣接していることです。それに比べ、日本においては、人口が多いため、国民同士で商売が成り立って来たり、また、隣の国には船や飛行機を使わないと取引ができないという事情から歴史的にも日本の産業構造は国内市場に重点を置いた戦略を取って来たりしました。そんなことから、デンマーク人は国外との取引を通し、国家の繁栄基盤を作ってきたのに対し、日本の場合、内需によって国家経済のベースをつくって来たりしました。デンマークの1人当りの輸出額は日本の1人当りの約3倍になっているのは、デンマーク経済基盤をつくっている裏付けとも言えるのです。

⑫ 「共生」と「競争」社会について

デンマーク人の「共生精神」は対国外との関係においてデンマーク人同士を守り合うという「共生」で出来たのに対し、日本人の「共生」は、国民同士の「競争」による「共生」だと思えるのです。つまり強いものあるいは努力したものの「競争原理」が「共生社会」における利権や利益を生むという社会構造が日本だと思うのです。そのようなことで、日本人の中には、「高福祉」「高負担」という社会構造は「競争精神」に反するものと考え、「高福祉」社会は怠け者を増やし、国家経済が停滞するという危惧を感じている人もかなりいると思うのです。「私は大変努力したので、今の財産が出来た」、「努力もしないで遊んでいる者になぜ、金を出すか」、「ますます努力しないで遊んでいる者が増えるのではないか」という意見を持つ人達もでてくると思います。この意見の中には、国民同士が守り合うという気持ちは無く、「努力」という言葉を使って「共生」している人たちが持つお金や権利を奪っているということだということです。すこし判り易く云えば、お金持ちになるというのは社会全体に配られていてお金を自分の所に集めるということであり、それは「共生社会」にいるからできることなのです。内村鑑三の『後世への最大遺物・デンマルク国の話』の本の中に、「かの有名なるグールドのように彼が生きているあいだに2千万ドル溜めた。そのために彼の親友4人まで自殺せしめ、アチラの会社を引き倒し、コチラの会社を引き倒して2千万ドル溜めた。」(岩波文庫、27ページ)というエピソードが書かれていました。

たいていの人たちは人を殺してまでお金持ちになろうとは思わないのですが、お金を貯めた結果として、仲間や取引先を窮地に陥れたり、死に追いやっていることもあり得るのです。日本で後を絶たない「振込み詐欺」事件、ありとあらゆる手使い、人からお金をとりあげようと知恵を絞る人達は「共生社会」を利用している人たちだと思うのです。何れにせよ、大半の人はいくら望んでも大金持ちになれるわけではなく、また事業家になって大資産を取得できるわけでもないのです。

それでも、人間は素晴らしい才能をもって生まれ、生きる権利を持っていると思います。ただ、どんなに素晴らしい才能を持って生まれた人でも、お金の無い生育環境ではその才能が活かされることがなく、生涯を終えることとなります。デンマークの高福祉・高負担では、金持ちになった人たち、そして大企業主になってお金を集めた人達から国が中に立ってお金を集め、そのお金を、国民全員に配る制度を取り入れたのです。この制度の導入によって、すべての人たちが自分の能力や才能が活かせ、生きる権利が守られ、希望と夢が実現できる社会がつくれていると思うのです。

⑬ デンマークの能力主義と所得格差

デンマーク人が選んだ道は、国民全員が納税したお金を再配分することで殆どの人たちが、経済的に不安の無い生活が出来た仕組みを作ったことです。そうかといってデンマークに競争がないわけではありません。筆者が思うにデンマークの社会は能力主義だけに、能力を持つ者と持たない者の金銭面での差は、日本の新規採用制度を導入し、年功序列によって所得が増えるという制度に比べ

差が多いように思えるのです。例えば、デンマークの高卒レベルの教育を受けた人の所得と大卒の所得を比べても、大卒の人達の給与は倍近くになっているのです。その裏には大卒の教育レベルがそれだけ高いということもいえると思うのです。何故ならば、デンマークの雇用者は生産性の無い従業員に年間、日本円で1,000万円以上の給与を支給するとは思えないからです。そんなことで、デンマークの高福祉・高負担社会では、就労者の労働意欲を落としているわけではなく、反対にデンマークの人達は生活が守られている分、やりたい仕事に就くための努力をしています。それによって多くの生産性を上げ、また、それにあわせて高額の報酬を得ているのです。その一方でデンマークの高福祉と男女の能力主義は離婚問題にも繋がっていることも事実です。

⑭ 社会福祉と離婚について

デンマークの離婚者数を統計数値で見ますと、2008年15,000人が離婚しています。同じ年の婚姻者数37,400人ですから、離婚率は約40%となります。また2009年14,700人の人達が離婚していますが、同年の婚姻者数33,000人ですので、結婚する数に比べ約45%の人達が離婚しているということです。デンマークの結婚暦別に見た離婚は結婚後6年～19年が全体の約55%を占めています。なぜ、デンマーク人は離婚するか、理由はたくさんあると思います。一番大きい理由は夫婦生活における妻側の夫に対する不満が原因になっているようです。この中で例えば、子育てに協力しない、掃除洗濯は手伝わない、食事作りの手伝いも後片付けも手伝ってくれない、など、日常生活における不満が離婚の主な原因になっているようです。その背景には既に触れましたが、デンマークの女性の就労率はEU諸国でも一番高く16歳から64歳の女性の76%が就業しています。そんなことで、職場と家庭そして子育てに女性の多くはストレスを感じて生活している中で、家事や掃除洗濯そして子育てに手伝わない夫は要らないというのが、離婚に理由になっているのです。しかもデンマークでは、離婚後子どもの親権は、大抵の場合女性（母親）が取得しているので離婚しても、子どもと離れる訳ではなく、反対に夫の世話がなくなった分妻の方は楽になると女性は言っているのです。離婚した後の経済面においては資産があれば、最低半分は得られるし、また、夫に育児料が請求出来るし、また、経済的にやりくりが出来なければ、住宅手当、育児手当など行政から経済面での支援を受けることが出来るためです。夫婦とも自立して生活しているデンマークでは、「主婦業」という職業は無いため、高等教育を受けた女性のほとんどは「私は主婦業に専念するために高等教育を受けたのでは無い」と答え「自分の生きがいを見出すために生きて働いている」と答えるのです。デンマーク公務員の約75%は女性、民間企業でも25%は女性の労働力によってデンマークという国が維持されていることから見て、デンマークでは男女、職場においても家庭においても『同権』なのです。その男女同権を受け入れない男女の夫婦生活はデンマークでは離婚に繋がるということです。しかしながら、デンマークの人達は離婚は受け入れても、それを良しとしているわけではありません。特に小さい子どもを持つ親の離婚は、離婚した親の子どもの生活環境を乱し、将来への精神的不安を作り出し、それが、学校教育の場において、問題児となる可能性が多いためでもあるためです。その反面、両親や保護者の暴力行為や冷たい関係の中で育つ子ども（達）も決して良い生活環境とはいえないので、子どものためにも離婚することもやむを得ないケースもあり、そんなことからデンマークという経済的に守られた社会においても離婚は多くに問題を引き起こしていることも事実です。

デンマークの離婚の手続きについて簡単に触れますと、デンマークでは同意離婚する場合、地区行政の民生課が窓口になっています。離婚したい夫婦のために、専門職のスタッフが配属されています。そのスタッフの仲介で、18歳未満の子どもが居る親はその子ども（達）の親権、財産の分配、生活費の分担など別居条件を決めます。別居期間は6ヶ月、この6ヶ月間の間に離婚するか復縁するか決め、離婚する場合は別居条件がそのまま離婚条件となります。弁護士はそれを元に離婚条件証明書を作成し、離婚する男女がそれに署名することによって離婚が成立します。

⑮ デンマークの自殺者

私（筆者）がデンマークに入学した当初農場にホームステイしデンマーク語の習得に努めました。その農場主夫妻はその後、私のデンマークの親代わり役を務めてくれました。例えば、私達の結婚式には親代わりとして参列して頂、また、農場主の息子や娘の結婚式にも招待してくれました。農場主の娘は結婚後7年目ぐらいで離婚しましたが、その彼女の元夫は昨年自殺しました。自殺の原因はうつ病だと聞きました。自殺したその人の年齢は66歳で、家畜を肥育しない農場を所有し、その他に貸家一軒を所有していたため、経済的には困らない生活していたと思います。それでも自殺の道を選んだのは、おそらく、2度目の結婚も長続きせず、1人生活をしていたようですがその生活に耐えられられなかったためではないかと思っています。デンマークで自殺する人の数は年間約650人です。2006年における男女別の自殺者数を見ますと男性が472人に対し、女性の自殺者数は178人になっています。男性の自殺者数が女性に比べ倍以上になっていますが、男性の自殺の多くは離婚や妻の他界が自殺の原因になっていると言われています。何れにせよ、デンマークの社会保障の中で経済的に保障されていても、人間には精神面での支えが必要なのか、それが無いと生きる目的が見えないためか、自殺する人がデンマークにもたくさん居ます。

第3章 デンマークという国

第1章と第2章においてデンマークの「高福祉・高負担」の概要に触れましたが、この章においては、今日の「高福祉・高負担」という国家を生んだデンマークという国について国の生い立ちなどかいつまいで記述します。

① 多数の島と平坦な国土

デンマークという国はノルウェーとスウェーデンが所在するスカンジナビア半島南に位置し、ドイツの北方に出るユトランド半島、その他約400の島からなる国土面積約43,600 km²の国です（九州と山口県を合わせた面積）。デンマークの統治領として世界最大の島グリーンランドもあります。グリーンランドは国防と外交以外はグリーンランド住民の自治領となり、独自の国旗を所持しています。デンマークの人口は約553万人（2010年）この内約10%は移民や難民で、日本人国籍の居住者は約1,100人（2009）となっています。

デンマークの国土は今から約1万年、厚い氷で被われて居た大地の氷が溶け、表土が流れた後に残った後堆積された土壌を何千年もかけ開拓し出来た土地で、特にユトランド半島中西部から北部は今でも地表20cm以下は砂利か砂地の痩せた土地です。デンマークには高い山が無く最も高い場所をデンマーク人はヒンメルビヤ（天にどどく山）呼び、海拔僅か173メートルの丘です。

② 猟銃民から農耕民族になった国民と王家

デンマークの国土の成り立ちについて触れますと、今から6千から7千年前に南ヨーロッパから猟銃民族が北欧と呼ばれる地域に進出し、その民族が紀元前3000年頃から森林を切り開き、大麦やライ麦を蒔いて農耕民となり定住し、石器時代（紀元前2800から1800）を経、青銅器時代に入り、デンマークの交易が盛んになるのです。デンマークの青銅器時代とは紀元前1700年～500年のことです。デンマークに青銅が入ったのは紀元前1700年頃と言われています。デンマークでは青銅を作るための銅や錫が取れなかったため、スイス、ハンガリー、ドイツの銅を手に入れたため、デンマークの人たちは毛皮や琥珀を銅との交換物資として船でエルベ川（チェコよりドイツを通り北海に流れる川）を利用しての交易をしました。また、イギリスの錫を得るために毛皮や琥珀を交換物資として船でイギリスに運びました。また、北部ノルウェーのフリント（すい石）を手に入れるために毛皮や琥珀を船に積み、交換しました。また、増産した農作物をバルト海諸国や南ヨーロッパ諸国に販売するため船舶の建造が始まり、これらの国々との農産品の交易によって、デンマークは栄え、船舶の建造技術がその後バイキング時代における海上移動の船舶を生むことになるのです。バイキ

ング時代とは西暦 793 年から 1066 年まで、北欧の農民・職人がヨーロッパ各地、アメリカ大陸まで略奪や移民そして統治を繰り返し替えてきた約 270 年間の時代のことです。デンマークは「デンマーク王国」と呼ばれていますが、デンマークの王家は西暦 800 年頃に生きたバイキング王「グーフレド」から始まったといわれています。今のマーガレット二世はバイキング王から数え 54 番目の国王に当たります。デンマークはノールウェー・スウェーデンと共に北欧三国と呼ばれ、教育、政治、社会福祉、宗教など政策面において類似しているのは西暦 1389 年デンマークの女王マーガレット一世がこれら 3 国を統合していたこと、言語も同じことが影響しているといわれています。マーガレット 1 世（在位 1387 年～1412 年）時代はデンマークの王家が現在のスカンジナビア半島を制覇し、デンマークが最も力を持っていた時代だと云えると思います。

③キリスト教を国教とする国

デンマークが国家として偶像信仰からキリスト教国に転換し、現在のルーテル教を国教として導入したのはクリスチャン 3 世（在位 1534 年～59 年）で 1536 年のことです。この時からデンマークは「クリスチャン」であることを誓う堅信礼を取り入れ、今日においてもキリスト教や倫理教育は義務教育課程における必須科目になっています。大学教育を受けた人達の多くは中央官庁、政治家、業界上層部の職業に就いていますが、デンマークの大学では哲学が必須科目となっています。例えばコペンハーゲン大学の例で見ますと、コペンハーゲン大学の創立は 1479 年 6 月 1 日、創立当時の学部は神学、法学、医学そして哲学の 4 学科でした。デンマーク政府は 1675 年からは、哲学、心理学そして倫理学の国家試験を義務付け、300 年以上経った今なお、コペンハーゲン大学の政治学部では哲学は必須科目にないです。2008 年コペンハーゲン大学の政治学部の教科にはギリシャの哲学者プラトンの「国家論」アリストテレスの「国家論」が教材として使われています。デンマークの学校教育においては、小学校から「キリスト教を学ぶ」科目が必須になっていますが、この教育をとって「倫理」教育も受けているのです。国民の納税とそれを運営管理する行政と政治との「信頼」関係の根本には、デンマークの初等教育から大学教育まで必須となっている「倫理や哲学」教育が根底にあるためだと思えます。また、コペンハーゲン大学政治学科では 1788 年から「デンマーク統計学」が必須科目となっていますが、その「デンマーク統計学」の習得を通し、学生は国内外の統計データを下に、国家の政策論につなげています。そしてまた、全国に約 2,400 の教会が存在するデンマークでは、教会の維持費を賄うため、デンマーク人の約 80%が「教会税」を納税しています。教会に勤務する牧師は公務員で、教会や野外における礼拝業務活動の他、児童の洗礼、堅信礼、婚礼、葬儀など儀式をその職務としています。デンマークでは殆ど毎週の日曜日あるいはキリスト教の祭日には礼拝があり、聖句を通し国民への教示と戒めとしています。

例えば、マタイ伝 25 章 15-30 節：「すなわち、それぞれの能力に応じて、ある者には 5 タラント、ある者には 2 タラント、ある者には 1 タラント与えて、旅に出た、5 タラント渡された者は、すぐに行き、それで商売をして、ほかに 5 タラントもうけた。2 タラントの者も同様に、ほかに 2 タラントをもうけた。しかし 1 タラント渡された者は、行って地を掘り、主人のお金を隠しておいた、・・・（以下省略）」この聖句で云おうとしているのは、全ての者は与えられた機会と能力を活かし社会のために努めなさい」という教示と、「地を掘ってお金を隠しておくようなことは」（箴言預金）社会にとって何ら役立たないので止めて欲しいという戒めであるのです。

これらの国民教育を受けた人達が今日のデンマークの政治家者に求めることは：

- ・ 国家をどのような方向に導こうとしているのか、ビジョンを持った政治家（首相）であること。
- ・ どのような手段でより良い国家を築くか、ビジョンが語れる政治家（首相）であること。
- ・ 政党間における利害関係を踏まえ、交渉能力に長け、政党内外において信頼と尊敬される政治家（首相）であること。

- ・ 自己の政策論を強調し良い交渉相手となり、結果が出せる政治家（首相）であること。

このような方針をもった政治家をデンマークの人達は選んでいるのです。因みにデンマークの国会議員選出選挙の投票率は現憲法発効後（1953年6月5日）常に約85%前後になっています。例えば、現政府を決める総選挙権（2007年11月13日実施）の投票率は86.6%でした。デンマークの国会議員の平均年齢は40代の中頃です。また、デンマークでは難民や移民も選挙権があります。

④ 国防に多大な犠牲を払った国

中世のデンマーク史はドイツやスウェーデンとの国境争奪戦の歴史でもあり、バルト海域の利権争奪の歴史でもあるのです。この中には「ドイツのハンザ同盟」との海上利権争いもあります。この当時、領土争奪戦に駆り出されたのは農地を耕し家畜を肥育する農民で、土地や家族を守るために侵略者と幾度も戦い国土を守って来ました。デンマークはナポレオン戦争（1799年～1815年）に加担し国防費を賄うため造幣で膨大なインフレを引き起こし、借金の返済が出来ず、1813年「国家の倒産」の経験もしています。デンマークは1864年ドイツとの戦争に負け、穀倉地帯であった南ユトランド地方一帯をドイツ割譲、国土面積の3分の1を失い、人口は250万人から170万人に減らした経験もしています。肥沃な国土を失ったデンマークを救ったのがエリンコ・ムリオス・ダルガス（1828～94年）という人ですが、軍人教育を受け当時36歳だったダルガスはヒースに被われたユトランド半島中部の未開発の土地の開拓を手がけるため、1866年「デンマーク原野開発会社」を設立しました。そしてこの会社はその後20年かけて約40万ヘクタールの農地を確保しました。この会社は現在も健在で、国内外での植林事業や森林管理やゴミ捨て場から出るメタンガスの埋蔵量のチェックなど活動を続けています。このダルガスの業績については、現在においてもデンマーク人の多くは知っています。

因みにデンマークが1864年ドイツとの戦いで失った国土の1部を取り戻し、今日の国境が出来たのは、第一次大戦後の1920年のことです。そんなことから、この地方の人たちのデンマークを愛するというナショナリズムは強く、「デンマーク国民党」の支持者の多いのもこの地方です。

⑤ 国土防衛から社会福祉国家をつくった国

デンマーク人が国土争奪戦で払った膨大な犠牲が「国土や国家を守るのは自国民しかない」という国民性となり、今日のお互いを守り合うデンマークの社会福祉政策の根源になっているのです。例えば1799年の「コペンハーゲン貧困救済計画」公布、疾病保険制度導入（1811年）児童施設の開設（1827年）などの第一次社会改革がその例であり、その後1800年代の末から1900年代前半に第二次社会改革として高齢者救済法（1892年）労災保健法（1899年）身障者保険法（1921年）など国民救済政策を取り入れたのです。さらに1930年代における世界経済恐慌時には第三次社会改革として失業保険、国民年金、障害保健の見直しをし、青少年失業対策法（1933年）、母子介護法（1939年）など今日の社会福祉法の基盤をつくりました。

フレデリック七世（在位1848年～63年）が就任した翌年の1849年、「デンマーク憲法」を発効し、それまでの絶対君主制から立憲君主制へと近代国家の政治体制に変えました。「デンマーク憲法」は、その後幾度も改正されましたが、その都度、国民の国防への義務を謳っています。例えば、今日の「デンマーク憲法」（1953年6月5日施行）89条において「武器を持てる全ての男子は国防への義務を持つ」と定め、それをもとに、今でも18歳～32歳の男子には徴兵の義務があります（徴兵義務期間は4ヶ月）。筆者がデンマーク国籍を取得したのが35歳だったため、徴兵されることはありませんでした。最近の新聞報道によりますと、数字的には記憶ありませんが、軍人志望の若者が多いため、徴兵制での軍人育成の必要が無くなったと言われていています。なぜデンマークの若い人たちが兵役に強い興味を持っているかということですが、仲間同士との「共生」と「平和への願望」がその主な目的になっているようです。デンマークの軍隊はNATO（北大西洋条約機構）の加盟

国として、また、国連からの要請にもとずき、イラクやアフガニスタンなどにも戦闘部隊を派遣しています。アフガニスタンでの参戦では既に33名の人命を戦争で失っていますが、それでも、派兵を続けているのは国際社会への約束を守るためだと云われています。何れにしてもこれらデンマーク人が導入した兵役政策はデンマークが歩んだ長い国防で得た教訓から生まれたものであるのです。

⑥ 農業の自立と国民教育に力を入れている国

中世におけるデンマーク経済を支えたのは穀物とバルト海で採れたニシンの輸出でありました。農民は穀類の収穫が終わった秋から漁民となってバルト海のニシン漁に出で、採れたニシンは塩付けにして、西ヨーロッパ諸国に運び、塩、銀貨などに交換しまたそれによって国家の財源として来ました。この当時、デンマークの国土の大半は大地主が所有し、土地の耕作は戦争時においては兵士として戦場に狩り出しされる農民でした。デンマークでは農地を耕作するための労働力として1495年頃には「農奴制度」がありました。この「農奴制度」はクリスチャン5世（在位1670年～1699年）が発効した「クリスチャン5世のデンマーク法」の規定によって国家公認の「農奴制度」となったのです。この制度はその後、農家の子女が出生した場所から移動させない「生地帰属農民制度」となり、1788年にフレデリック6世（在位1808年～39年）によって、この制度を廃止するまで約300年続きました。フレデリック6世が「生地帰属農民制度」を廃止した理由は貴族の力を削減するためと、農民の自由と自立支援を支援したためです。これがもつて、1815年頃には、農業労働者の約7割は自営農家になりました。また、フレデリック6世の善政が今日でも王家が国民から敬愛される理由にもなっています。過酷な労働から解放され自営農家を手にした農民たちは「守るのは自分達だけ」という独立精神を生み、1880年代に入り、穀類生産から付加価値の高い畜産生産に切り替え、中間業者の搾取から身を守るため、生産から加工そして販売に至る「農業協同組合制度」の設立に繋がりました。

デンマーク農民の協同組合制度確立や国民の「共生精神」の育成に多大な影響を与えた人が、ニコライ・フレデリック・セベリン・グロントヴィ（1783～1872年）です。グロントヴィは「国民の人格教育」の場として、当時労働人口の約半分を占めていた農業従事者相手に農閑期を利用し、全寮生の国民高等学校を設立、実践教育を基本に国民の「共生精神」の育成に努めました。デンマーク人に「希望、理想そして弱者を守る人道主義」を語った人がアンデルセン童話で知られる、ハンス・クリスチャン・アンデルセン（1805～1875年）です。アンデルセンの童話「おやゆび姫」（1835年作）では、「試練と希望」を語り、「人魚姫」（1836年作）では「親の愛情を受けて育った子どもは苦勞せず生きらるが、親の愛情が受けられなかった子どもには長い試練がまつわる」と語っています。また、「裸の王様」（1837年作）でアンデルセンが描いているのは「権力者にしがみついて生きている人間の弱さ」であり、「権力を傘に威張るな」という戒めでもあるのです。読者の多くはアンデルセンは「童話作家」としてとらえられている面が強いのと思いますが、デンマークではアンデルセンの物語は「正義」を語る哲学書でもあると受け止めている人もいます。そんなことで、デンマークの子ども達の多くはアンデルセンの「童話」を読み、親も子どものアンデルセン童話の内容を知っている人がたくさんいます。

⑦ 多大な経済力を持つ「農業協同組合」がある国

今日においても、デンマークの養豚業農家や搾乳農家は食肉解体工場、酪農工場を所有し、輸出を含めた販売会社を運営し、年次報告書を元に総会を開き、利益分配のボーナス制度を導入しています。デンマークの農民が導入した「農業協同組合制度」では、理事の選出や会計報告の承認の投票権は何百ヘクタールの土地を所有する大農場経営者も、何十ヘクタールしか土地を所有しない小農場経営者も投票できる票は「1票」と決まっています。私（筆者）は1978年から約10年間25ヘクタール（約7万坪）の農地を持つ農場で「養豚経営」をしましたが、農場経営に関し全く知らないまで「養豚」経営を始めましたが、隣近所の農家からたくさん世話になりました。所有しているトラクターや農耕器具を借りたり、豚の肥育に関するアドバイス、配合飼料が足りなくなった時は借りた

り、秋の収穫時における麦の刈り取りから麦藁の収穫と格納など、たくさんの支援を受けての農場経営でしたが、このデンマーク農業関係者の協力し合う精神はデンマーク農民の長い歴史の中で生まれた「共生」の精神から来ているものと思っています。今日デンマークの農場は私が農場経営をしていたころに比べますます大農場化しましたが、それでも、農地を耕作するための専門事業者が誕生し、農家が個別に耕作機械を所有しないことで、機械投資の無駄を省き、農場経営の改善を図っているのです。デンマークの酪農家の生乳価格（生産者価格）は日本のそれに比べ半以下で、しかも、人件費が高いデンマークの酪農が今なお存続しているのは、耕作機械など投資を最少限に抑えているためだと思えます。このことから、デンマーク農業の「共生」が見られます。

今日デンマーク農業においては、農業経営者への融資制度の確立、農業従事者の資格教育制度の導入、農業経営支援と世代交代への指導制度の導入などを通しデンマーク農業が存続するための各種の制度が導入されているようです。その結果、デンマークの農業は人口約 553 万人に対し、約 1500 万人分の食料を生産していると言われています。

デンマーク農業については付記しますと、デンマークの夏場での平均気温は 16 度前後、デンマークの年間平均雨量約 780mm で、平坦地が続く国土は農地として耕作するのに適し、デンマークの農家は穀類や牧草を生産しそれを、家畜の餌に当て養豚、酪農に力を入れて来ました。デンマークの国土面積の約 61 パーセントに当たる 267 万ヘクタールは農地になっています。デンマークの農家は、国際競争に勝つため、小規模農業から大規模経営化を進め、2009 年における一戸当りの農地面積は約 64 ヘクタールと 20 年前に比べ倍増し、農家戸数は 30 年前の約 99,000 戸から約 41,400 戸と半減しました。デンマーク農業の主要生産物は酪農と肉生産で、特に豚肉や牛肉そして酪農製品の殆どは自給率 100% 遙かに越える生産をし、長年、デンマーク最大の輸出品目となっています。特に食料の確保について言及しますと、国民の生活を守る上で最も大事なことの一つは食料の確保です。デンマークは第二次世界大戦時にドイツ軍に 5 年間も占領されましたが、戦死した国民数は 1000 人以下で破壊された建物も僅かだったのは、ドイツ軍はデンマークの農産品の供給を受けるざる得なく、攻撃することを避けたためだと言われています。第二次大戦でドイツ軍に激しい抵抗したノルウエーは子ども達を餓死から守るため、多数の子ども達をデンマークの移住させ、育ててもらったという話も聞きますと、デンマークは第二次大戦中においても食糧庫の役割を果たしていたことが解ります。フランスの元大統領ドゴールは「食料の自給なしに民族の独立は無い」と語ったと言っていますが、国家の指導者として最大の役割は国民が存続するために必要な食料の確保だと言うことだと思えます。デンマークがカロリーベースで完全に自給できる農業を営み、大幅な農産品の輸出に繋がっているとおいうことは、デンマークという国の強さだと思えます。

⑧ 産業育成と融資銀行の長い歴史を持った国

デンマークの産業は農家の副業として、羊毛を原料とした衣類の手編み製造と販売から始まりました。手工業とは云え、国内市場が小さいデンマークのメーカーは国外市場に販売の活路を見出さざる得なく、既に西暦 1400 年代の中頃から現在のノールウエー、スウェーデン、ポーランド、北部ドイツを市場として羊毛で作った衣類を輸出して来ました。デンマーク最初の株式会社はクリスチャン四世（在位 1588～1648 年）の時代に国と資本家がお金を出し合って設立した「東インド株式会社」（1616 年設立）です。また、デンマーク最初の通貨融資銀行ができたのは 1736 年のことで、設立目的は製造業を振興されるため融資銀行として発足しました。

デンマークのメーカーが国外市場に販売を依存する性向はその後にも変わることなく、今日に至っています。この中には第二章の中で触れた、油田開発や大量のコンテナ船所有するマースク、舶玩具メーカーレゴ社、ポンプメーカーのグロンホース社、世界最大の風力発電機メーカーベスタス社、薬品メーカーノーボノードスク社などが入っていますが、デンマークの企業は大小問わず、売上額の大半は国外市場に販売しています。何れにしても、中世から続いています国外市場相手として商

売し国家財政の基盤につなげるというデンマークの経済構造は今日においても、基本的には変わっていません。その結果デンマーク人1人当りの貿易額は日本人1人当りの約3倍になっていることについては既に触れた通りです。また、デンマークのメーカーの多くは地方都市に営業所や生産工場を所有し、高い家賃を払ってまでコペンハーゲンに事業を運営するメリットないことを理由にコペンハーゲン本社を設置しないのが当たり前になっていることも前章で触れた通りです。コペンハーゲン市は観光地で観光客相手の商売（ホテルやみやげ物店）と国会と中央官庁で働く人が集まる場所それとコペンハーゲン大学やコペンハーゲン商大が所在する学生の町でのあります。そんなことで、製造業社がコペンハーゲン市内に事務所を開設する意味は殆どないと思います。

⑨ 職種別労働組合を持つ国

デンマークの労働市場は労使とも今から100年以上前の1896年デンマーク雇用者連盟が発足し、1898年全国労働者連合結成されました。デンマークの労働組合の結束に多大な功績を残した人は当時郵便局職員であったルイス A.F.ピオ（1841～1894年）という人です。ルイス ピオは友人ブリックス、ゲレッフと共にデンマークの社会民主党の発足（1878年）にも大きな役割を果たしました。デンマークの労働者の代表する社会民主党が最初に議会で代表者を送り込んだのは1884年のことです。1924年社会民主党はデンマーク最大の政党となり、初代首相を務めたのが、葉巻選別工を務めたトーバルスタウニング（1873～1942年）という人です。

今日において、デンマークの労働者の約7割が全国職種別労働組合に加入し、雇用者連盟の結束と共に世界で最も結束率が高い労働市場と、デンマークの労働組合史に書いていました（注）。

（注）Fagbevægelsens historie, Niels Finn Christiansen, AOFs Forlag 2008, p.1

デンマークでは、賃金や労働時間数などの労使交渉は労働者側組合と雇用者側組合によって取り決めし、同じ職種例えば「事務員」であれば、全国の事務員組合が全国の雇用者組合の代表との間で労働条件を決めるため、どこの職場に勤めようとも報酬（給与）は殆ど同じになるようにしています。おそらく読者の中には、企業の売上や収益によって、従業員に支払う給料が違うはずと思っている方がおられると思いますが、デンマークの企業運営では従業員に支払う報酬を「生産者コスト」として販売価格に入れているのです。ですから、「事務補佐員」という職種の資格を持つ人を雇う場合は「事務補佐員組合」の賃金を含めた労働条件を元に雇用するかしないか決めることにしているのです。ここで雇用者の判断基準は「事務補佐員」雇うことによって、「事務補佐員」に支払う給与額を上回る利益が生まれることがポイントになります。そして、事業の業績が悪くなり、「事務補佐員」への給料が払えない場合は解雇予告（3ヶ月から6ヶ月）出し、解雇するのです。解雇された「事務補助員」はその後、労働組合の指導によって新たな職場を得るのです。失業期間中は失業保険が出ます。そうすることで、デンマークの就労者は雇用者との間で毎年雇用契約書を結び、解雇や再雇用が頻繁に行われています。給与体系は事務職関係者は月給制になっております。職人、メーカーのブルーカラーと呼ばれる製造部門に勤務する人達の報酬は時間給になっています。なお、時間給で働く人達の解雇予告期間は月給制で雇われている人達よりも短く約2週間とされています。解雇と雇用が頻繁に繰り返されるデンマークの労働市場において、デンマークの労働人口の約290万人の人たちの約7割が失業保険を管理する29の「職種」労働組合に加入しています（注）。

（注）デンマークの労働組合の中には例えば「金属労働者組合」、「デンマーク看護師組合」、「デンマーク教員組合」、「デンマーク警察官組合」「デンマークジャーナリスト組合」「通商および事務員組合」、「職員及び公務員組合」などがあります。それと大卒を対象とした「修士者組合」、「アカデミー」組合などがあります。

デンマークの失業保険の支給期間はスカンジナビア諸国では最も長く4年間（スウェーデン、ノルウェーは2年間）になっていましたが、デンマークの国家財政も金融危機の影響を受け赤字財

政を組まざる得なかったことを反映し、2010年6月、デンマーク政府は財政再建策の一つとして失業保険の支給期間を2011年から2年間に削減しました（注）。労使間調停の違反行為や紛争の仲裁役としてデンマークでは、労働市場の最高裁と呼ばれる労働裁判所があります。

（注）2011年から2013年までの間に約240億クローネ（約4800億円）の財政削減政策導入の一環として失業保険支給期間を4年間から2年間に削減しました。

⑩ 職場と教育を連携つけた国

デンマークの職業は資格教育を通じた「職種」別職業であるため、同じ勤務先であっても、その職種によって就業内容が異なるし、在職年数で職務が代わることはありません。報酬（給与）額は受けた教育資格によって異なり、受けた教育が職場の業務となるのです。例えば、一般事務員の資格者が、キャリアアップの教育を受けその資格を取らない限り、就業内容は変わらないし、高い報酬（給与）を受け取ることは出来ません。デンマークの労働組合も雇用者組合も全国の代表を務めるため、報酬額を含めた労働条件は組合の代表者と、雇用者組合の代表によって、決められます。そういうことから、「事務員資格者」が加入している組合員の給与はデンマークのどの企業に勤めようが基本的には同じであるのです。一般事務職からグレードアップしたい場合には、商科大学など、就業しながら勉強も出来る夜間大学に入学し、そこで、「組織学科」、「国際貿易学科」、「金融学科」などを学び、その卒業資格によって、職種のグレードアップをします。勿論退職し、就学支援金を受けながら通常の大学や職業学校に入ることも出来ます。その場合大幅な収入減になるので、仕事と就学を両立させるのは過酷ですが、デンマーク人の多くは、仕事をしながら、大学に通い、その卒業資格をもって新たな「職種」の仕事に就きそれによって報酬額（給与）も当然アップさせることにしています。教育期間と報酬に関しては第2章の中で触れた通りです。

デンマークでは仕事をしなくても生活できるだけの保障は整っています。にも関わらず、デンマーク人の多くは就業している理由は、自分の可能性を追求すると共に生活保護に比べ3倍も4倍も多い収入になる仕事に就くことが出来るからです。デンマークの所得について加筆しますと、デンマークの地方市議会議員は仕事を持つボランティアが議員を務めるため、議員報酬が無く、交通費などの手当として年間6万5千クローネ（約130万円）が支給されるのみです。町長とか市長は専門職なので月給制度になっていますが、その額は日本円で80万円～100万円と云われています。国会議員の場合、首相の給与は日本円に換算して年間約3000万円程度、大臣職は約2600万円ですが、一般の国会議員の年収は1000万円程度で、デンマークの国会議員の給与は長期高等教育を受けた人達と同じかそれ以下になっています。このようにデンマークの政治家は決して高い報酬や給与を貰って、その職務についているわけではないのです。つまり、国民の税金で生活費を賄っているデンマークの政治に携わる人たちは、国民の理解の得がたい高額な報酬や給与でその職務に就いていないということです。

あとがきにかえて：

私（筆者）はデンマークに住んで今年（2010年）で43年になりました。デンマークの高福祉を受けている1人だと思っています。そうかと言って、デンマークの税金は高いとは思っていないのも事実です。理由は、納税した額よりも、受取った額の方が多いと思っているためです。本文の中で触れましたが、3人の娘達の教育費と生活費だけ考えたとしても、私が納税したお金では、賄えない金額になっていると思っているためです。おそらく、デンマークで生まれ育った人達には、教育費が無料とか、医療費は殆ど無いということは当たり前になっていると思いますが、私のように教育費や医療費の自己負担がある国から移住した人達の殆どは、デンマークの社会福祉制度で受けられる恩恵に感謝しているはずで、私（筆者）はデンマークに移住したことで、27歳の時最初の住宅を購入することができました。購入した不動産は土地面積750m²、建物130m²とガレージ付

きの一戸建て住宅でしたが、これもデンマーク政府が国民に住宅を持たせる制度を導入してくれたためです。今現在5軒目の家に住んでいます。デンマークの住まいを確保するという制度は全ての人が求める願望の一つでもあると思うので、その願望がかなえられる政策が政治の中で活かされています。また、私は41歳で商大に入学しましたが、デンマークでは何歳になって、お金の心配をせず就学できる教育機関があること、職を失っても、退職しても、経済的に不安の無い生活が出来ることなど、素晴らしい制度を取り入れています。その裏には、デンマーク人は消費税を25%払い、世界で最も納税率が高い国でたくさん税金を払っているために出来ることです。

このデンマーク人が選んだ「高福祉・高負担」という国は、生産性という面での能力のある人達も、精神的・肉体的障害で自活出来ない人たちも「共存」出来ている社会でだけに、住んでいる私には理想に近い国だと思えるのです。何故なら、第2章で触れた通り、デンマークにも何千億という資産を持っている家族もいる一方、経済苦のため、自殺を図ったデンマーク人は聞いたことが無いのです。もし、デンマークで経済的に苦しいという家族がいることを知ったら、デンマークの人達の多くはその家族を救済するために、金銭面や物質で支援し行政や政治に救済策を要請する、と思うためです。

日本という国を外から見ていますが、自然に恵まれ、果物や野菜など何でも収穫できる国であるにも関わらず、借金をしなければ、教育が受けられない人たち、病気になっても治療費が出せない人たちがかなりおられるようです。日本人の多くの人達はそれを良しとしているのか「やむえない」と思っているのか知りませんが、少なくとも、全ての保護者は自分の子どもには良い教育を受けさせてやりたいと思うし、子どもが病気になった時には治療費の心配をせず、最適な治療を受けさせてやりたい、と願いのではないでしょうか。

デンマークの人達は保護者が持つ教育・医療への願望をほぼ完全に叶えてくれるだけでなく、出産から墓場まで支援をする国家をつくりその財源を国民同士が負担するという「高福祉高負担」という国家体制を選択しました。

最後に、本書『消費税25%の国』—高福祉・高負担の国—執筆を勧めていただきました、株式会社角川 S.S.コミュニケーションズの小張智弘様に心からお礼申し上げます。

2010年9月

デンマークウアンホイにて

ケンジ ステファン スズキ